

【ねがいましては】

平成15年8月29日

第158号

KYOWA SCHOOL

「炊いてくれただけでありがとう」

釜戸からぼうぼうと勢い良く炎が立ち上ります。釜のふたをも炎で隠れてしまうほど勢いがあります。その傍らで真剣にYちゃん(高2)は炎を見つめています。「美味しいご飯が炊けますように。」……

昨年のキャンプで、すっかり釜戸での炊飯に魅了されてしまったYちゃんは、今年はもう完全なメシ炊き専門家として活躍しています。二升五合(約4.5kg)の米は一気に強火で炊き上げられ、一粒一粒がシャキッと立ち上がったまま、つやつやとした顔を覗かせています。

「おいしいっ!」と、子供達の声。

思わずニコッとこぼれる笑み。

幸せてこれなんだね。

彼女の表情は満足感とやさしさに包まれています。

3日目の晩御飯、男子の班のメニューはクリームシチューです。

その日はご飯の必要な班はそこだけで、5合もあればOKです。

早速Yちゃんは炊飯にとりかかります。

「大きなお釜だと5合はちょっと難しいよ。」と、私のアドバイス。

彼女は慎重にとりかかります。

私はすっかり安心し、スタッフたちとの食事の準備にとりかかります。

1時間30分、どうやらまだ炊き上がっていない様子。

実は先日から雨模様でマキが少々湿り気味。

なかなか火がつかない。釜戸の周りには、男の子たちが集まっています。

小学3年生の子は、新聞紙やマキでいたずらをします。(だれもがやりたくなるのです。)すると隣の中学生が「やめなよ。」と注意します。実はその中学生「S」君は、昨年やはりかまどでいたずらをして、Yちゃんにしかられています。1年で成長しましたね。その後10分ほどすると、男子の部屋からもう一人の中学生I君が現れ、「みんな中にはいいな。」とかまど周りにいた小学生達を部屋の中に入れます。実は、なかなか炊けないでいるYちゃんの表情を察して、スタッフのEちゃんとAちゃんが、そっと男の子の部屋へ行き、かまど周りでちょっかいを出している子達を部屋へ入るよう促していたのです。

その後約10分ほどで、ご飯は炊き上がりました。5合炊くのに2時間近くもかかってしまったことに、Yちゃんは元気がありません。男子の部屋の前で「本当にごめんなさい!」と謝っています。

それから15分ほどしても、Yちゃんはいっこうに本部の部屋へ姿を現しません。私は彼女がどうしているか察して、スタッフの一人に迎えに行くよう頼みます。……帰ってきました。

案の定湖畔で泣いていたのです。

「こーらっ、何やってるかわかってるんだぞ!」「……。」「さっ、食べよう。」「……。」「悔しくて悔しくて、ならなかったんだろ!」「……うん。私がね、ごめんなさいって言ったら、アニキがね。(男子の班のリーダー、中2)『炊いてくれただけで、ありがとう。』って……。」

それ以上は言葉になりません。悔しさより、その言葉からいただいたうれしさに、彼女はひとり泣いていたのですね。



みんなみんな、しっかりと成長しています。

Yちゃんは翌日、自分の学校のチアリーダーの振り付けを小学1年生・4年生に教えています。楽しそうです。10歳にもおよぶ年齢差を越えて、楽しそうに楽しそうに踊っています。

4泊5日の生活の中に、こんなにも温かいものがあふれている Camp。

最終日、スタッフたちを始め中学生の女の子たちは、台風による大雨の中、ずぶ濡れになりながら荷物を運んでくれました。生き生きしていましたね。これが生きているってことかな。

ほとんどの子たちが、来年も行くって。。。。。

今度は私の心がYちゃんのようにです。

ありがとう。



朝食風景



ピザづくり

9月の予定

第1週 全国統一模試 KYOWA SCHOOL

12日(金) 珠算・暗算検定試験 申し込みしめきり

24日(水)～26日(金) 検定試験 KYOWA SCHOOL

新学期生徒募集いたします。心をあたたくして机に向かいましょう。

まちがえる事はわかるもと。質問できるから楽しくなります。

いろんなことにチャレンジしましょう。みんな友だち！これがKYOWAスタイル！